

プリオン病の二次感染予防に関する研究

研究分担者: 東京大学医学部附属病院 齊藤延人

手術器具等を介した、プリオン病の二次感染リスクに関して調査するため、CJDインシデント委員会として活動。診療ガイドラインの策定・改訂」を目的としている。

インシデント事例フォロー状況

| 事例 | CJD診断時期 | 告知対象者 | 事例 | CJD診断時期 | 告知対象者 |
|----|----------|-------|----|-----------------|-------|
| 1 | 平成16年6月 | 11名 | 10 | 平成21年7月 | 50 |
| 2 | 平成16年8月 | 10名 | 11 | 平成23年9月 | 60名 |
| 3 | 平成17年10月 | 12名 | 12 | 平成24年2月 | 58名 |
| 4 | 平成18年10月 | 7名 | 13 | 平成24年5月 | 5名 |
| 5 | 平成18年9月 | 0名 | 14 | 平成26年月 | 15名 |
| 6 | 平成13年6月 | 2名 | 15 | 平成27年1月 | 27名 |
| 7 | 平成15年3月 | 22名 | 16 | 平成26年12月(H28新規) | 23名 |
| 8 | 平成18年3月 | 21名 | 17 | 平成27年9月(H28新規) | 10名 |
| 9 | 平成20年1月 | 5名 | | | |

解説

- 平成28～29年は新規インシデント事案が2件あり、平成29年12月現在、2件すべての現地調査が終了している。継続してフォローアップ支援の対応中である。
- これまでに17事例がフォローアップの対象となっている。このうち今年度末までに7事例の10年間のフォローアップ期間が終了している。これまでのところ、二次感染の発生はない。